

(別紙8)

【認知症対応型共同生活介護】

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年1月13日

【評価実施概要】

事業所番号	0190500397		
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイのほほえみ豊平公園		
所在地	北海道札幌市豊平区平岸2条2丁目2-24 (電話) 011-820-4061		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年1月12日	評価確定日	平成22年1月14日

【情報提供票より】(平成21年12月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 21年 10月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 12人, 非常勤 3人, 常勤換算	13.9人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	78,000 円	その他の経費(月額)	22,050 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(156,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり		円	

(4) 利用者の概要(12月15日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名	
要介護1	2 名	要介護2	4 名			
要介護3	8 名	要介護4	4 名			
要介護5			要支援2			
年齢	平均	84.5 歳	最低	73 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	わかばやし内科クリニック、厚生診療所、河村歯科クリニック
---------	------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員の資格取得等への研修意欲も高く、働き易い職場環境の整備や法人内のキャリアアップ制度が充実している2ユニットのグループホームです。また、内部統制、コンプライアンス遵守の研修や試験も実施されて職員間の意識が共有される取り組みが実践されています。献立委員会では、家族等に試食会を催し「アンケート」を実施して、そこでの意見を取り入れて食事が楽しいものになるような工夫や季節の旬な食材の提供、一人ひとりの嗜好の把握など「こだわり」を持った取り組みが行われています。ホーム内では、季節毎の利用者手作りの作品が飾られたり、季節感や生活感を感じられる工夫が行われています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、運営推進会議の定期的な開催が改善点として挙げられていましたが、2ヵ月毎に定期的開催され冬期間の非常階段の除雪について等運営推進会議で具体的内容について話し合われ議事録も残され改善されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、全ての職員が参加して行われ新たな気づきや改善の機会として利用されています。また、外部評価の結果については、職員間で話し合われていると共に運営推進会議で報告されて意見交換が行われています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、年6回を目安に開催されて直近の運営推進会議では、札幌市の消防署の協力を得て緊急時の通報訓練、避難誘導訓練、実際の消火器を使った初期消火訓練が行われています。また、冬期間の非常階段の確保や除雪管理体制等について具体的に討議され改善策が取られたり、避難誘導時の避難場所の確保等緊急時を想定した討議内容と対策に取り組まれています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 玄関入り口付近に「意見箱」とポスターを掲示して家族及び来訪者等が意見を言い表せる機会を設けています。また、家族の来訪時には一人ひとりの生活の様子や健康状態などについて報告され意見や不安な点、要望等話し合われたり、運営推進会議で意見交換されて運営に反映させています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域的に大学や医療機関、マンション等が多く地域との連携が難しい面もあるが、町内会に加入して、ゴミ拾いなどの行事参加や地元のスーパーや商店での食材購入を心掛け地元の人々との交流、連携に努めています。また、町内会役員との交流やホームの取り組みを町内会に情報提供して認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。

タンジェント株式会社

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげ職員間で共有している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を毎朝唱和すると共に見やすい場所に掲示している。また、月1回開催されるホーム会議で理念の実践に向けて話し合われている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域的にマンション等が多く連携が難しい面もあるが、町内会に加入して、ゴミ拾いなどの行事参加や地元のスーパーや商店での食材購入を心掛け地元の人々との交流、連携に努めている。また、町内会役員との交流やホームの取り組みを町内会に情報提供して認知症に対する理解や広報に取り組んでいる。		今後は、さらなる連携の為に地元の人々との交流の機会を深めていくことを期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全ての職員が参加して行われ新たな気づきや改善の機会として利用されている。また、外部評価の結果については、職員間で話し合われていると共に運営推進会議で報告し意見交換が行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、年6回を目安に開催されて直近の運営推進会議では、札幌市の消防署の協力を得て緊急時の通報訓練、避難誘導訓練、実際の消火器を使った初期消火訓練が行われ具体的な討議内容と対策に取り組まれている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、市担当者や包括支援センターとの連携の重要性については十分理解している。また、地域の在宅ケア会議等の参加を通じてケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ユニット毎に職員の写真が掲示され、家族や来訪者等に職員の名前が分かりやすいようになっている。また、金銭管理についても定期的に報告されている。家族の来訪時には、生活の様子や健康状態などについて報告されている。</p>		<p>今後は、ホームの取り組み状況や認知症についてのさらなる理解や啓発について広報に取り組まれることを期待します。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関入り口付近に「意見箱」とポスターを掲示して家族及び来訪者等が意見を言い表せる機会を設けている。また、家族の来訪時には一人ひとりの生活の様子や健康状態などについて報告され意見や不安な点等話し合われたり、運営推進会議で意見交換されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職率は低い。また、職員の資格取得等への研修意欲も高く、働き易い職場環境の整備や法人内のキャリアアップ制度が充実している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者や職員を段階に応じて育成するためのスタッフ導入研修やキャリアアップ制度が充実している。また、外部研修参加や資格取得への支援も行われている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の連絡会参加やグループホーム管理者連絡会参加で同業者との意見交換や情報交換などが行われている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には本人・家族の見学や職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>花の水遣りや洗濯物の取り込み、食器拭き等一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式を活用して、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め散歩や買物、お墓参り、雑談など本人の意向に沿って支援している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族の希望や医師からの助言、センター方式で職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画になっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員が中心となってカンファレンスを随時実施し、現状に即した見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、遠足やレクリエーション、往診や突発的な受診、訪問理容の利用等支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医や提携医療機関との連携で適切な医療を受けられるように支援している。また、医師、歯科医師等の往診も利用されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや記録の扱いをしている。また、内部統制、コンプライアンス遵守の体制が確立されている。		特筆すべき点として、法人全体で内部統制、コンプライアンスの体制を構築して職員全体で共有している。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にして、散歩や買物、お墓参り等希望に沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている	献立委員会で、家族等に試食会を催し「アンケート」を実施して、そこでの意見を取り入れて食事が楽しいものになるような工夫や季節の旬な食材の提供、一人ひとりの嗜好の把握など「こだわり」を持った取り組みが行われている。		特筆すべき点として、産地や鮮度、季節の旬などにこだわりを持った食材の吟味、食欲をそそるような見栄えの工夫など食事の提供にも力を注いでいる。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに応じて入浴を楽しめるように支援している。また、拒否の強い利用者にも対応されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	センター方式を活用して、一人ひとりの生活歴が把握され、家族に出す手紙の字を書く練習や折り紙、花の水遣りなど楽しみごとや気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や畑作業、野外でのジギスカン、御家族との外出など戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、居室や玄関は、日中鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急時に速やかに対応できるように町内会役員も参加して、消防署の協力を得て火災避難訓練が実施されている。また、防災セットや食料の備蓄もされ3ヶ月に一度点検されている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な食事や水分の摂取量が記録され、一人ひとりに応じた支援が行われている。また、摂取カロリーや栄養バランスについても医師の指導・助言が活かされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには、和室のコーナーや椅子、ソファが配置され談笑したり、一人になったりできる場所が確保されている。また、季節毎の作品が飾られたり、ベランダから庭に出て気分転換できるように工夫されている。利用者にとって気になる音の大きさや臭い、光の強さは感じられない。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、本人や家族と相談しながら、テレビや使い慣れた家具などが持ち込まれ本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。